港湾振興便り

2015．9

第100号

＊：＊：＊：

●御前崎港が「みなとオアシス御前崎」として認定されました。

（御前崎市役所　事業部商工観光課企業港湾室）

●帆船「海王丸」が御前崎港に５年ぶりに寄港！

（御前崎市役所　事業部商工観光課企業港湾室）

●第１２回　大阪湾再生水質一斉調査を実施しました

（近畿地方整備局　神戸港湾空港技術調査事務所）

●「姫路港ふれあいフェスティバル」で広報活動！

（近畿地方整備局　神戸港湾事務所）

●別府市長杯ビーチバレーボール九州大会に参加しました。

（九州地方整備局　別府港湾・空港整備事務所）

４ お知らせ

＊：

１ ポートエッセイ　　「自由港」に湧くウラジオ

－東方経済フォーラムも開催－

～日本港湾振興団体連合会会長（新潟市長）　篠田　昭～

＊：

７月のハバロフスク市訪問に引き続き、先月下旬にウラジオストク市を訪れた。今回は２５回となる「日ロ沿岸市長会議」に出席するのが目的だった。ウラジオはプーチン大統領肝いりの「東方経済フォーラム」開催の準備と、その場で世界にアピールする予定の「自由港」指定で活況を呈していた。しかし、日本側の我々にとってはメドジェーベフ首相が北方領土を視察したことで「ロシアはどちらを向いているのか」考えざるを得ない旅ともなった。ウラジオの近況と自由港への意気込みについてお伝えする。

新潟市とウラジオは１９９１年に姉妹都市提携を結んだ。ウラジオがまだ外国人に開かれていない「閉鎖都市」の時代だった。ウラジオはその後、１９９２年に外国人にも開放され、日本海を通して太平洋の窓となる位置づけで大発展が期待された。しかし、ロシア極東の人口減などで苦戦してきた。プーチン大統領はウラジオを重視し、２０１２年APEC首脳会合をウラジオで開催することとし、会議場となるルースキー島への長大橋を建設するなど巨額のインフラ整備を推進、首脳会合を成功させた。

大統領がその後の極東発展策として打ち出したのが先月報告した「先行経済発展区」（新型経済特区）

と、ウラジオ周辺エリアの自由港だ。特にウラジオ港は自由港の核として期待されている。プシカリョフ市長は「関税面や入国手続きなどで多くの優遇を受けられる。９月４日に開催する東方経済フォーラムでプーチン大統領自ら自由港や新型特区について説明し、海外からの投資を引き出す」と自信たっぷりに語った。

沿岸市長会議も日ロ双方の取材陣が来てくれたが、ロシア側記者が「自由港や新型特区への日本の投資が中国・韓国などに比べ少ないのはなぜか」といったものだったのに対し、日本側記者からは「この時期のメドベージェフの北方領土視察についてどう思うか」と必ず付け加えられた。こちらは「なんで、このタイミングなんでしょうかね」と答えるしかなかった。経済フォーラムで日本側投資を促すには最悪のタイミングだが、「プーチン大統領の許可を得ていないはずはない」と同行した専門家の見方は一致している。

そんな中で開催されたフォーラムで、やはりプーチン大統領は「ロシア極東を通じたアジア各国との経済関係の強化はロシアの戦略的優先課題」と強調したという。ウラジオについても日中韓の経済関係者を前に「門戸開放」をアピールした。フォーラムには約２５００人が参加。中国の約３００人が最大だ。

今後が注目されるウラジオだが、海岸沿いにはAPEC首脳会合に合わせ「五つ星」ホテルとなる予定だった建物が建設中止のままとなっている。一方では空港近くに国際カジノが建設中で、「１０月にも一部が先行オープンする」とウラジオ市関係者が期待を込めて語っていた。これからのウラジオに注目である。

＊：

２ 100号記念に寄せて

港湾空港総合技術センター　理事長　中尾成邦

＊：

「港湾振興便り100号」刊行おめでとうございます。また、よく続けてこられたと、感慨にふけっています。

というのも、記念すべき創刊号は、2007年（平成19年）4月だったそうです。当時、港湾局長であった私が、「創刊記念に寄せて」と一文を寄稿していたそうです。そのときの港湾政策の話題は、「スーパー中枢港湾プロジェクト」と、「みなと振興基金」でありました。あれから8年あまり、その間に、港湾の世界も、政権交代に伴う「公共事業の大幅な抑制」、「港格の変更」、「遠隔離島における国直轄の港湾整備、管理」、「東日本大震災」等々、大きな変革の嵐がありました。

また、私的には、約36年余り勤めた国土交通省（運輸省）を退職し、2年の浪人を経て4年間マリコンに勤務した後、この6月に、一般財団法人港湾空港総合技術センター理事長に就任しました。

港湾振興団体連合会は、その間も一貫して、港湾振興、地域振興を目指して、全国のネットワークを活かし、各地域の港湾力向上に努めてきました。これからも是非、皆様方の力を合わせるためにも、このメールマガジンを、200号300号と続けていかれることを祈念して、お祝いの挨拶といたします。

＊：

３ トピック

＊：

●『北極海航路活用戦略セミナーin苫小牧』の開催

北海道総合政策部交通政策局物流港湾室

平成27年7月1日（水）、学識経験者等による北極海航路活用戦略研究プロジェクトチーム、道及び苫小牧港管理組合の共催により、『北極海航路活用戦略セミナー』を苫小牧市内で開催し、道内外から港湾関係者など約140名が出席しました。

欧州と北海道間の物流の相互関係を視野に北極海航路活用の可能性研究を進めるプロジェクトチームメンバーによる講演では、北極や北欧とアジアの関係、物流コスト面から評価した北極海航路の可能性、北海道が北極海航路の拠点を目指すための戦略、苫小牧港の取り組みと期待などについて、研究者から発表がありました。

本セミナーは出席した道内の関係者にとって、北極海航路の最新情報を共有できる良い機会になったと思います。道では、北極海航路の玄関口という地理的優位性を有する道内各港において、航路の活用に向けた取り組みが一層進むことを期待しており、今後も北極海航路に関する情報発信を行っていきたいと考えています。

セミナーの様子

●２０１５みなとオアシスまつりが開催されました

酒田市　商工観光部　商工港湾課

７月２６日（日）、みなとオアシス酒田に認定されている酒田港本港地区を会場に「２０１５みなとオアシスまつり」が開催されました。当日は、快晴のもと、働く船の一般公開や山形県漁協女性部による浜焼き等の物産販売、ビーチサンダル飛ばし競争、魚型丸太釣り競争、山形県内キャラクターによる写真撮影会等が行われ、家族連れなど多くの来場者で賑わいました。

また、会場内では、来年度山形県にて開催される第３６回全国豊かな海づくり大会のＰＲブースも設けられ、訪れた人たちの関心を集めていました。

みなとオアシスまつりは、山形県や酒田市、国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所等により構成される「海の日」記念事業実行委員会が、「海の日」記念事業の一環として、海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う『海の日』の意義を広く市民､県民に啓発するとともに、賑わい創出空間としての

「みなとオアシス酒田」の形成推進と認知度向上を図ることを目的として毎年開催しています。

●「飛鳥Ⅱ」酒田港寄港

酒田市　商工観光部　商工港湾課

8月27日（木）、29日（土）に酒田港北港地区古湊ふ頭に飛鳥Ⅱが寄港しました。
横浜港を出港し、伏木富山港へ向かう航海途中の寄港となった27日には、台風16号の影響が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、750名の乗船されたお客様は、オプショナルツアーで山形県を縦断する最上川での舟下りや酒田市内での酒田舞娘（まいこ）の演舞を鑑賞にお出かけになり、山形での観光を楽しまれました。
出港時間の夜8時には、出港式典と出港に合わせて打ち上げる花火を見ようと、1,000人を超える市民のみなさんがふ頭に集まり、ペンライトを振りながら出港する「飛鳥Ⅱ」を見送りました。

伏木富山港から再び、酒田港への寄港となった29日には、800名を超えるお客様を新たにお迎えしました。「西の伊勢参り、東の奥参り」と言われた羽黒山への参詣や、クラゲの展示でギネス記録を持つ加茂水族館などへお出かけになった皆様が、次の寄港地となる青森港へ向けての出港する際には、27日に負けない数の市民のみなさんが見送りに参加されました。

●『みなとオアシスおおみなと』の登録証授与式を開催しました！

東北地方整備局　港湾物流企画室

全国で８４箇所目、東北では１３箇所目となるみなとオアシス※『みなとオアシスおおみなと』が認定され、全国的に猛暑が続く８月９日（日）、青森県むつ市の大湊港において登録証授与式が開催されました。

式典は、大湊ネブタのお囃子で幕を開け、来賓である江渡聡徳衆議院議員より、「『みなとオアシスおおみなと』が下北地域の交流拠点として機能することを期待している。」とのご祝辞を頂きました。続いて登壇された山崎力参議院議員からは、「『みなとオアシスおおみなと』が地域活性化の拠点となるよう、地域の皆さんの積極的な取り組みを期待している。」とのご祝辞を頂きました。

その後、東北地方整備局の津田副局長より、『みなとオアシスおおみなと』の代表者である宮下宗一郎むつ市長へ登録証が授与され、大湊ネブタ囃子の子供たちとむつ市のゆるキャラ「ムチュラン」とともに、和やかな雰囲気で記念撮影が行われました。

続いて宮下市長とムチュランの掛け合いによる『みなとオアシスおおみなと』の紹介が行われ、ムチュランのコミカルな仕草に、会場は笑いに包まれました。宮下市長からは、「楽しいイベントをたくさ

ん開催して、多くの方に愛される『みなとオアシスおおみなと』となるよう盛り上げていきたい。」という力強い抱負が述べられました。
当日は、会場となった大湊港周辺で花火大会や大湊ネブタ祭が開催されていたこともあり、お囃子やムチュランが会場を盛り上げ、たくさんの市民に囲まれた中で式典が開催されました。
管内のみなとオアシスが地域の賑わい拠点として発展していくよう、検索サイトやインターネット地図への情報掲載、連携イベントの開催など、東北地方整備局としても引き続き応援していきますので、ぜひお近くのみなとオアシスに足を運んで頂けますようお願いします。

※国土交通省が認定・登録する、「みなと」を核としたまちづくりを推進するための市民や観光客が集う交流施設

▲ むつ市長に登録証を授与しました

▲ ムチュランからの質問にむつ市長がアドリブで答える一幕も

●「第３０回東京湾クリーンアップ大作戦　横浜港特別行事」を開催しました！

関東地方整備局 港湾空港部　海洋環境・技術課

東京湾クリーンアップ大作戦は、国や自治体が行っている東京湾の清掃活動をみなさんに知ってもらい、東京湾における環境保全の意識を高めていただくため、海の月間（7月1日～7月31日）に合わせて実施している活動です。この一環として、「横浜港特別行事」を７月２５日（土）に横浜港新港ふ頭５号岸壁にて、関東地方整備局、第三管区海上保安本部、横浜市港湾局の共催で開催し、関東地方整備局所属の清掃兼油回収船「べいくりん」、第三管区海上保安本部所属の消防船「ひりゆう」の船内見学や横浜市所属の清掃船「清澄丸」の展示及び環境啓発のパネル・回収したゴミの展示、海上保安官子供ミニ制服試着会等を行いました。
猛暑の中でありましたが、昨年度よりも若干多い約２００名の方に足を運んでいただきました。
アンケートでは、東京湾で国や地方公共団体が環境保全や船の航行安全の確保のために行っている海に浮遊するゴミなどの回収活動ついて、「知らなかった」と回答された方が6割以上でしたが、「本日のイベントに参加し、国や地方公共団体の清掃活動に関する取り組みを理解いただけましたか？」という

設問に対して、アンケートを回答いただいたほぼ全員の方から「理解した」との回答をいただき、浮遊ゴミ回収の重要性や東京湾の環境保全について理解を深めていただけたのではないかと思います。

「べいくりん」船内見学

多関節クレーンによる大型ゴミ（流木）吊り上げのデモンストレーション

関東地方整備局ブースの見学

大型回収ゴミの説明

●江戸前アサリ「わくわく調査」を実施しました！

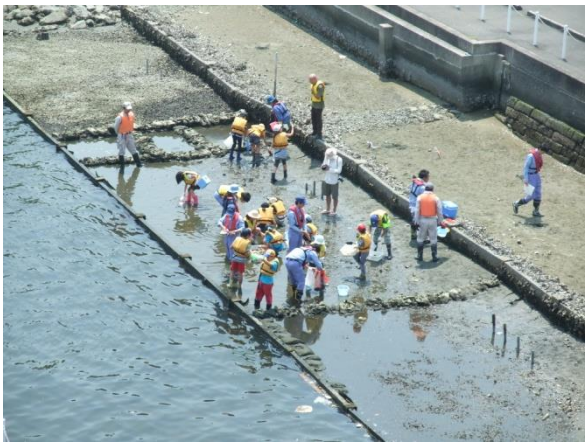
関東地方整備局　横浜港湾空港技術調査事務所

平成27年7月30日（木）、当事務所が管理している人工干潟「潮彩の渚」にて、江戸前アサリ「わくわく調査」を実施しました。昨年も実施したこの「わくわく調査」は、東京湾のアサリがいつ、どこでわくのかを調べるため、東京湾再生官民連携フォーラムが主催し、東京湾の各地（船橋三番瀬、葛西海浜公園、その他）で実施されている調査です。

本調査には事務所周辺の小学校３年生～５年生14人の子供達が参加し、東邦大学風呂田利夫名誉教授の指導の下、調査の目的、方法を学び、その後アサリが生息する人工干潟「潮彩の渚」へ移動し、５班に分かれて調査を開始しました。

１班２ヶ所（１ヶ所：縦25cm横25cmの枠、深さ10cm）ずつアサリを採集した結果、１ヶ所あたりの平均は152個、10mm以下の稚貝は38個でした。（昨年は9月23日に、６班に分かれて１ヶ所ずつ採

集し、平均26個、稚貝の個数は14個でした)江戸前アサリ「わくわく調査」の調査結果は、国土技術政策総合研究所海洋環境研究室で取りまとめが行われています。
（参考：国総研HP　http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/asari/index.html）
　参加した子供達からは「とても楽しかった」、「また機会があったら参加したい」と、うれしい感想をいただきました。



潮彩の渚

アサリ採集

アサリ計測－1

アサリ計測－2

●新潟西港で「親子みなと見学会」を開催しました

北陸地方整備局　新潟港湾・空港整備事務所
新潟港湾空港技術調査事務所

　８月５日、「親子みなと見学会」を開催しました。このイベントは、港の役割や重要性と事務所事業を知ってもらい、夏休みに港に親しむ機会として毎年開催しています。今年は、港湾業務艇「あさひ」に乗船しての新潟西港見学には３７名の親子が、「水理実験場」の一般公開には４７名の方が参加されました。
　当日は、波も穏やかな乗船日和となり、「あさひ」は９時３０分から３便運航しました。

参加者は、途中でデッキへ出て港の景色を眺めたり、グラブ浚渫船の迫力ある浚渫作業の様子を見たりしました。タイミング良く大型浚渫兼油回収船「白山」と港内ですれ違うことのできた便では、操舵室から手を振る「白山」乗組員に手を振り返す参加者もいました。

水理実験場では、「鳴り砂」と「液状化実験」の体験、「消波ブロックの模型」と「防波堤模型」の紹介、平面水槽での造波見学を行いました。

また、民放テレビ局や新聞社の取材もあり、港の役割や重要性などを知っていただく良い機会となり、有意義な見学会となりました。

浚渫作業を眺める

水理実験場「鳴り砂」の体験

水理実験場造波見学の様子

●御前崎港が「みなとオアシス御前崎」として認定されました。

御前崎市役所　事業部商工観光課企業港湾室

平成２７年８月１日、静岡県にあるマリンパーク御前崎において、「みなとオアシス御前崎」の認定式が行われました。認定式は、「御前崎みなと夏祭2015」開会式に合わせ行われ、中部地方整備局守屋正平副局長より 石原茂雄市長と澤入芳男副市長に認定証と認定旗が授与されました。認定式の後には、なぶら御前太鼓による演奏やエイサーも行われ、夜になると花火大会が行われました。

また、会場には、中部地方整備局と清水港湾事務所によるブースを出展して頂き、会場に来られた市民向けにみなとオアシスの説明を行って頂きました。

認定式をみなと夏祭の会場で行ったため、多くの市民の方々にみなとオアシス御前崎を理解して頂くことができました。

【認定式記念撮影】

【みなとオアシス紹介ブース】

●帆船「海王丸」が御前崎港に５年ぶりに寄港！

御前崎市役所　事業部商工観光課企業港湾室

平成２７年８月１４日～１８日にかけて、御前崎港に帆船「海王丸」が５年ぶりに寄港しました。期間中は、セイルドリルの披露や船内の一般公開、夜間には、海王丸をライトアップを行い、出港時には、訓練生による登しょう礼が行われ、昼夜を問わず、多くの人が御前崎港に訪れ、大盛況の内にイベントが終わりました。

また、期間中の天候にも恵まれたため、前回寄港時の倍となる延べ４万人以上の人が訪れており、静岡県外からも多くの人が来場されました。

このようなイベントを通して、みなとに関心を持って頂く方が少しでも増えて頂き、港湾整備の重要性、みなとの振興についての理解に繋がればと思います。

【入港時の様子】

【セイルドリル】

【ライトアップ】

【登しょう礼】

●第12回　大阪湾再生水質一斉調査　を実施しました

近畿地方整備局　神戸港湾空港技術事務所

大阪湾では民間企業、大学・高校、行政等が連携し、陸域・海域を含めた「大阪湾再生水質一斉調査」を実施しています。１２年目となる今年度の水質一斉調査は、平成27年8月6日を中心に38機関が参加し、大阪湾及びその集水域の546地点で実施されました。調査結果は年度末に下記ホームページにて公開します。

本調査は、大阪湾再生の柱の1つとしてこれからも継続していく予定です。

大阪湾水質一斉調査　情報公開サイト（過去11回の調査結果を公開しています）
http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/water/index.aspx

調査を実施する海洋環境整備船　Dr.海洋

海水を採水する様子

●「姫路港ふれあいフェスティバル」で広報活動！

近畿地方整備局　神戸港湾事務所

平成27年7月20日（月・海の日）、「姫路港ふれあいフェスティバル」が姫路港飾万津臨港公園周辺で開催されました。本イベントは、平成21年度に行われた「姫路港開港５０周年記念事業」により喚起された港・海への興味・関心の高まりを引き続き浸透させるため、平成22年度から国、地方公共団体、地元自治会をもって組織された「姫路港ふれあいフェスティバル実行委員会」により毎年、海の日に開催されているものです。平成25年度からは、港の重要性や海の魅力を発信し、身近な港として親しむため、銀の馬車道の発着点である姫路港において、「みなとオアシス姫路」を核とした賑わいを継続するため、地元共催型のイベントとして、秋にも開催されています。

当事務所は海洋環境整備船「クリーンはりま」の一般公開とＰＲテントで広報パネルを展示し、港湾事業及び海洋環境整備事業についての重要性やストック効果について広報活動を行いました。

当日は朝から晴天に恵まれ、親子連れら多くの人が集まり、当所ブースには約900人が来場。普段見ることができない操舵室を間近に見ながら、乗船気分を味わっていました。

乗船を待つ大勢の人々

操舵室を見学する親子連れ

●別府市長杯ビーチバレーボール九州大会に参加しました。

九州地方整備局　別府港湾・空港整備事務所

平成２７年８月２２日（土）、別府港海岸 餅ヶ浜里浜ビーチで「別府ポートフェスタ２０１５」が開催されました。

本イベントは「みなとオアシス別府港」認定に伴い、別府港の賑わいづくりの取り組みとして２００８年から開催しているもので、今年で８回目となり、今や別府の夏の一大イベントとして定着しています。

メインイベントの「別府市長杯ビーチバレーボール九州大会」には、過去最高の１０２チームの参加があり、当所からも２チームが参加しました。

その他「ビーチフラッグ」や「さかな釣り大会」など多彩なイベントに多くの方の参加があり、とても賑わいのある一日となりました。

開会式の様子

ビーチバレーボール九州大会

ビーチフラッグ

つかもうぜ!!生きてる魚大会

＊：

4　お知らせ

＊：

◇「第8回大阪湾生き物一斉調査」結果発表会

実施内容　：今年の春に実施した「第8回大阪湾生き物一斉調査」の調査結果発表会を開催。調査に参加した大阪湾沿岸で活動するNPO等団体等からの調査報告（ポスターセッション、口頭発表）や大阪湾に纏わる話題提供などを予定

開催日時　：平成27年10月3日（土）

開催場所　：大阪市立自然史博物館（大阪市東住吉区長居公園1-23）

主催者名　：大阪湾環境再生連絡会　大阪湾生き物一斉調査プログラム実行委員会（事務局：近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所調査課）

お問い合せ：近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所調査課　TEL 078-331－0058

Webページ　：　http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/

（大阪湾生き物一斉調査情報公開サイトホームページ）

◇　東京湾大感謝祭2015

日時：平成27年10月24日（土）～25日（日）

場所：赤レンガ倉庫（横浜市）

http://tbsaisei.com/fes/

◇　大分港開港50周年記念事業

〈大在会場〉

開催期間　：　平成27年10月31日（土）～11月1日（日）

開催場所　：　大在公共埠頭

概　　要　：　大分港は今年度、関税法に基づく開港に指定されて50周年を迎え、これを機に、 アジアのゲートウェイとしての大分港の更なる発展に向けた契機とすることを目的とし、「大分港開港50周年記念事業」を実施。

http://oitaport50th.oitacity.info/

◇第5回御前崎マリンパークマラソン

開　催　日　：平成27年11月29日（日）

開催場所　：マリンパーク御前崎

概　　要　：秋空の下、御前崎港の港湾緑地であるマリンパーク御前崎を舞台に繰り広げられるマラソンイベント。子どもから大人まで誰でも参加できます。

御前崎体育協会事務局（御前崎市役所社会教育課）

Tel：0548-63-1129　fax：0548-63-1152「

http://runnet.jp/　（申込フォーム：ランネットエントリー）

◇ 公認釣りインストラクター募集

1、公認釣りインストラクター資格区分

（1） 海　面：船釣り、磯釣り、投げ釣り、擬似餌釣り(ルアー、フライ)

（2） 内水面：渓流釣り、清流釣り、止水釣り、擬似餌釣り(ルアー、フライ)

※受験資格：20歳以上受験可能

2、養成講習会

(1)東京　　平成27年11月28日(土)～29日(日)

会場：東京海洋大学(品川キャンパス)

住所：東京都港区港南４－５－７

(2)山口　　平成27年12月5日(土)～6日(日)

会場：徳山下松港湾福祉センター

住所：山口県周南市築港町１３－３８

(3)兵庫　　平成27年12月19日(土)～20日(日)

会場：兵庫県民会館

住所：兵庫県神戸市中央区下山手通４－１６－３

(4)名古屋　平成28年1月16日(土)～17日(日)

会場：愛知県産業労働センター　ウインクあいち

住所：愛知県名古屋市中村区名駅4丁目４－３８

3、資格試験　２日目講習終了後に午後から同じ会場で実施

【申し込み先】

(一社)全日本釣り団体協議会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4丁目6番13号ﾆｭｰ九段ﾏﾝｼｮﾝ1001号

TEL ０３－３２６５－４１９３ FAX ０３－５２７５－７０７７

fishing@dream.ocn.ne.jp

＊：＊：＊：　本メールマガジンに関するお問合せやご意見、また情報の送り先　：＊：＊：＊＊：＊：＊：＊：＊：

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002　港区愛宕1-3-4

TEL：03-5776-0630

FAX：03-5776-0631

e-mail：bcf06323@nifty.com

＊：＊：＊：＊：＊：